

中空知の景気動向 (令和5年1~3月期)

調査企業 125社
回答企業 121社
回答率 96.8%

業況は小幅に悪化、4~6月期も小幅に悪化を予想

今期の実績 (5年1~3月期)

業況判断DIは▲26となり、前期比9ポイント悪化、前年同期比では10ポイント改善した。
売上額判断DIは▲22となり、前期比22ポイント悪化、収益判断DIは▲35となり、前期比12ポイント悪化した。
また販売価格判断DIは26となり、前期比3ポイント下降、仕入価格判断DIは64となり、前期比2ポイント下降した。
業種別では、小売業・サービス業・不動産業で改善の他は4業種で悪化となった。

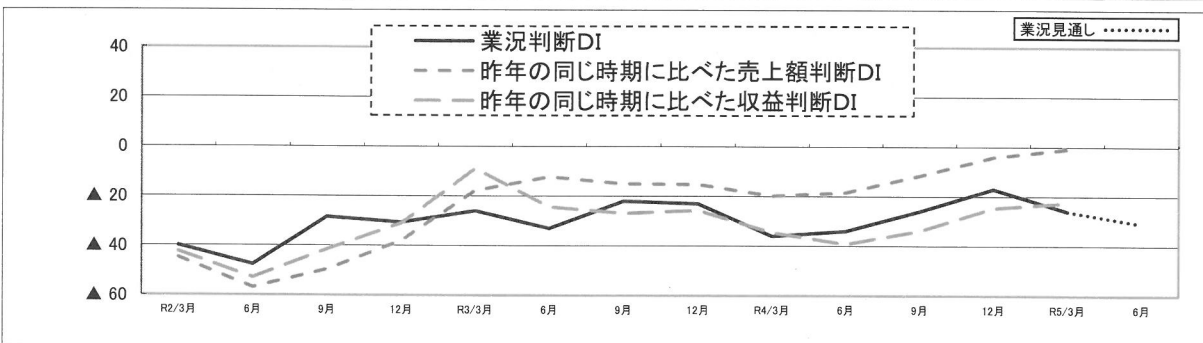
来期の見通し (5年4~6月期)

業況判断の見通しDIは▲31となり、今期実績比5ポイント悪化する見通し。
売上額判断見通しDIは▲8となり、今期実績比14ポイント改善、収益判断見通しDIについては▲19となり、今期実績比16ポイント改善する予想。
また販売価格判断見通しDIは30となり、今期実績比4ポイント上昇、仕入価格判断見通しDIは57となり、今期実績比7ポイント下降する予想。
業種別では、卸売業・小売業で改善、製造業で横這いの他は4業種で悪化する見込み。

DI値

	R4/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	R5/1~3月			4~6月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲36	▲34	▲26	▲17	▲26	▲9	10	▲31	▲5
売上額	▲32	▲16	11	0	▲22	▲22	10	▲8	14
収益	▲37	▲36	▲5	▲23	▲35	▲12	2	▲19	16
販売価格	14	30	27	29	26	▲3	12	30	4
仕入価格	65	72	69	66	64	▲2	▲1	57	▲7
在庫	▲3	▲2	1	1	0	▲1	3	▲5	▲5
資金繰り	▲12	▲8	0	▲11	▲9	2	3	▲13	▲4
残業時間	▲12	▲8	3	▲2	▲3	▲1	9	▲4	▲1
人手	▲31	▲44	▲46	▲50	▲42	8	▲11	▲49	▲7
現在設備	▲13	▲13	▲12	▲16	▲11	5	2	▲13	▲2

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答(不動産業除く)

設備投資実績内訳(5年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	6件
機械・設備の更改	14件
事務機器	7件
車両	9件
その他	5件

設備投資計画内訳(5年4~6月)

事業用土地・建物	4件
機械設備の新・増設	11件
機械・設備の更改	13件
事務機器	7件
車両	19件
その他	5件

今期(5年1~3月)は、31社(26.5%)が設備投資を実施しており、前年同期を1社下回りました。
来期(5年4~6月)に設備投資を計画している企業は38社(32.5%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	55社
2位	売上の停滞・減少	50社
3位	原材料高・材料価格の上昇	48社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	65社
2位	人材を確保する	60社
3位	技術力を高める	27社

建設業

(令和5年1~3月期)

調査企業 38社
回答企業 37社
回答率 97.3%

業況は悪化、4~6月期も小幅に悪化を予想

今期の実績 (5年1~3月期)

業況判断DIは▲35となり、前期比14ポイント悪化、前年同期比では21ポイント悪化した。
売上額判断DIは▲16となり、前期比24ポイント悪化、収益判断DIは▲41となり、前期比15ポイント悪化した。
また請負価格判断DIは14となり、前期比6ポイント上昇、材料価格判断DIは70となり、前期比4ポイント下降した。

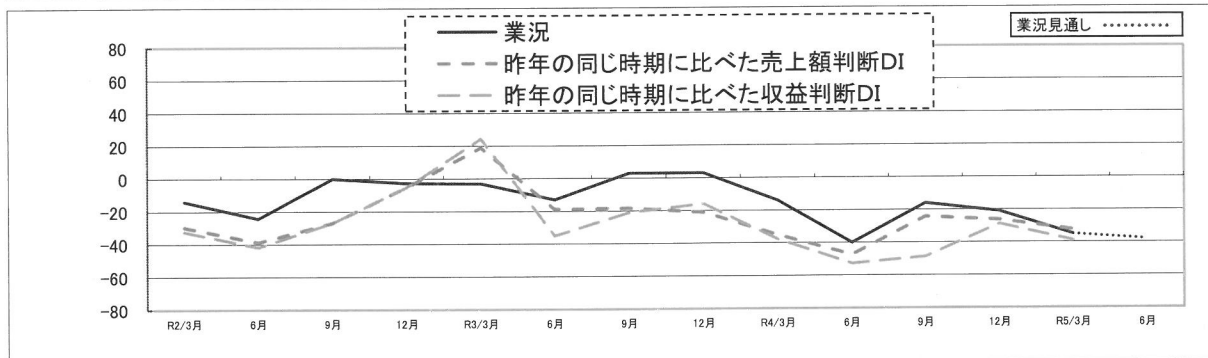
来期の見通し (5年4~6月期)

業況判断の見通しDIは▲38となり、今期実績比3ポイント悪化する見通し。
売上額判断見通しDIは▲14となり、今期実績比2ポイント改善、収益判断見通しDIは▲33となり、今期実績比8ポイント改善する予想。
また請負価格判断見通しDIは17となり、今期実績比3ポイント上昇、材料価格判断見通しDIは61となり、今期実績比9ポイント下降する見込み。

DI値

	R4/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	R5/1~3月		4~6月		
	前年同期				前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し
業況	▲14	▲40	▲16	▲21	▲35	▲14	▲21	▲38	▲3
売上額	▲27	▲32	24	8	▲16	▲24	11	▲14	2
受注残	▲50	▲19	11	▲19	▲45	▲26	5	▲17	28
施工高	▲30	▲24	3	▲8	▲35	▲27	▲5	▲14	21
収益	▲24	▲50	8	▲26	▲41	▲15	▲17	▲33	8
請負価格	0	11	24	8	14	6	14	17	3
材料価格	76	84	81	74	70	▲4	▲6	61	▲9
在庫	▲3	▲5	3	3	3	0	6	▲3	▲6
資金繰り	8	11	8	▲3	0	3	▲8	▲3	▲3
残業時間	▲19	▲21	0	▲3	▲11	▲8	8	▲6	5
人手	▲27	▲47	▲62	▲55	▲38	17	▲11	▲61	▲23
現在設備	0	▲3	▲3	▲3	5	8	5	▲3	▲8

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向 ※複数回答

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	3件
機械・設備の更改	5件
事務機器	2件
車両	2件
その他	0件

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	3件
機械・設備の更改	5件
事務機器	4件
車両	7件
その他	0件

今期(5年1~3月)は、10社(27.0%)が設備投資を実施しており、前年同期を4社下回りました。
来期(5年4~6月)に設備投資を計画している企業は11社(29.7%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位) ※複数回答

1位	人手不足	25社
2位	原材料高・材料価格の上昇	22社
3位	売上の停滞・減少	14社

1位	人材を確保する	27社
2位	技術力を高める	21社
3位	経費を節減する	16社

小売業

(令和5年1~3月期)

調査企業 31社
回答企業 31社
回答率 100.0%

業況は小幅に改善、4~6月期も改善を予想

今期の実績 (5年1~3月期)

業況判断DIは▲39となり、前期比8ポイント改善、前年同期比では36ポイント改善した。
売上額判断DIは▲13となり、前期比7ポイント悪化、収益判断DIは▲19となり、前期比10ポイント改善した。
また販売価格判断DIは45となり、前期比3ポイント下降、仕入価格判断DIは55となり、前期比16ポイント下降した。

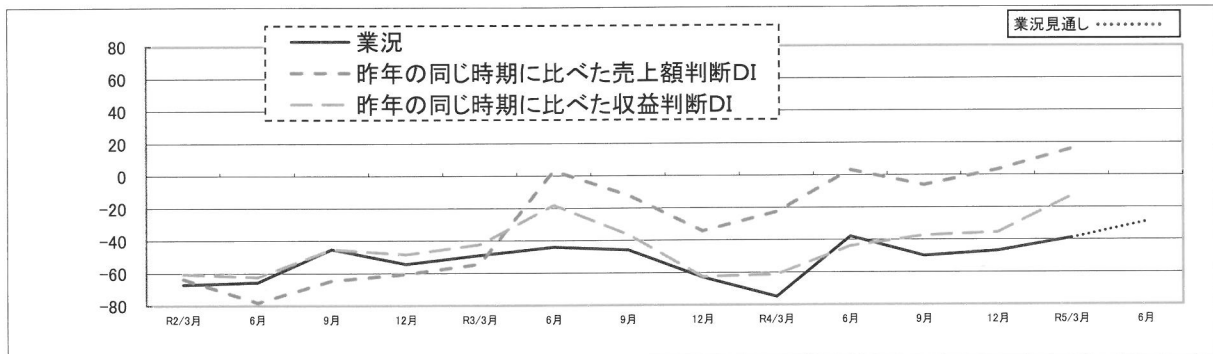
来期の見通し (5年4~6月期)

業況判断の見通しDIは▲29となり、今期実績比10ポイント改善する見通し。
売上額判断見通しDIは▲3となり、今期実績比10ポイント改善、収益判断見通しDIは▲17となり、今期実績比2ポイント改善する予想。
また販売価格判断見通しDIは53となり、今期実績比8ポイント上昇、仕入価格判断見通しDIは67となり、今期実績比12ポイント上昇する見込み。

DI値

	R4/1~3月	4~6月			R5/1~3月		4~6月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲75	▲38	▲50	▲47	▲39	8	36	▲29	10
売上額	▲47	▲6	▲6	▲6	▲13	▲7	34	▲3	10
収益	▲59	▲34	▲31	▲29	▲19	10	40	▲17	2
販売価格	25	53	41	48	45	▲3	20	53	8
仕入価格	63	72	66	71	55	▲16	▲8	67	12
在庫	▲9	▲3	0	0	▲7	▲7	2	▲10	▲3
資金繰り	▲19	▲13	▲3	▲23	▲23	0	▲4	▲20	3
残業時間	▲16	0	▲6	▲6	▲13	▲7	3	▲3	10
人手	▲28	▲34	▲31	▲32	▲32	0	▲4	▲36	▲4
現在設備	▲16	▲16	▲16	▲10	▲13	▲3	3	▲13	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年1~3月)

事業用土地・建物	0件
事務機器	1件
車両	2件
その他	4件

設備投資計画内訳(5年4~6月)

事業用土地・建物	0件
事務機器	1件
車両	2件
その他	4件

今期(5年1~3月)は、5社(16.1%)が設備投資を実施しており、前年同期横這いとなりました。
来期(5年4~6月)に設備投資を計画している企業は5社(16.1%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	17社
2位	仕入先からの値上要請	13社
3位	利幅の縮小	12社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	18社
2位	人材を確保する	9社
3位	仕入先を開拓・選別する	8社

サービス業 (令和5年1~3月期)

調査企業 17社
回答企業 16社
回答率 94.1%

業況は小幅に改善、4~6月期は悪化を予想

今期の実績 (5年1~3月期)

業況判断DIは6となり、前期比6ポイント改善、前年同期比では62ポイント改善した。
売上額判断DIは▲25となり、前期比31ポイント悪化、収益判断DIは▲25となり、前期比25ポイント悪化した。
また料金価格判断DIは44となり、前期比3ポイント上昇、材料価格判断DIは88となり、前期比6ポイント上昇した。

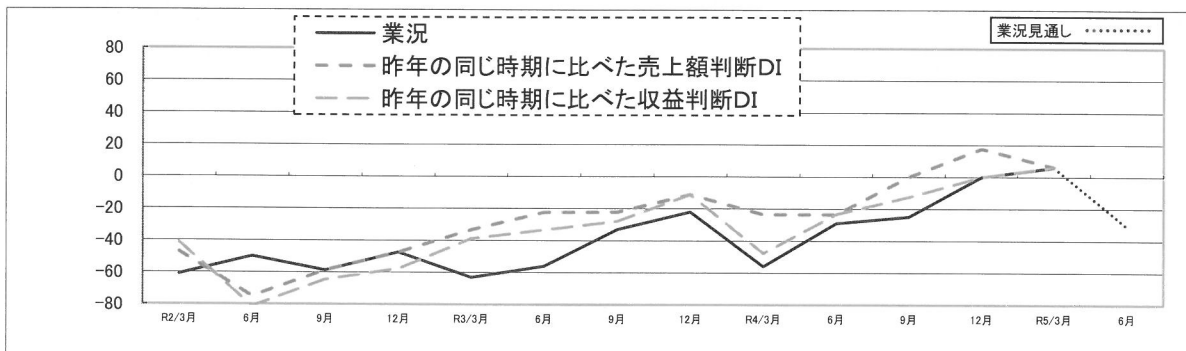
来期の見通し (5年4~6月期)

業況判断の見通しDIは▲31となり、今期実績比37ポイント悪化する見通し。
売上額判断見通しDIは▲12となり、今期実績比13ポイント改善、収益判断見通しDIは▲13となり、今期実績比12ポイント改善する予想。
また料金価格判断見通しDIは50となり、今期実績比6ポイント上昇、材料価格判断見通しDIは75となり、今期実績比13ポイント下降する見込み。

DI値

	R4/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	R5/1~3月			4~6月	
	前年同期				前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し
業況	▲56	▲29	▲25	0	6	6	62	▲31	▲37
売上額	▲56	▲29	13	6	▲25	▲31	31	▲12	13
収益	▲67	▲29	6	0	▲25	▲25	42	▲13	12
料金価格	11	41	25	41	44	3	33	50	6
材料価格	67	82	69	82	88	6	21	75	▲13
資金繰り	▲35	▲24	0	▲12	▲13	▲1	22	▲13	0
残業時間	▲11	0	13	12	27	15	38	14	▲13
人手	▲44	▲53	▲50	▲59	▲69	▲10	▲25	▲60	9
現在設備	▲22	▲12	0	▲18	▲19	▲1	3	▲13	6

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(5年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	3件
事務機器	1件
車両	0件
その他	1件

設備投資計画内訳(5年4~6月)

事業用土地・建物	2件
機械設備の新・増設	2件
機械・設備の更改	2件
事務機器	0件
車両	4件
その他	1件

今期(5年1~3月)は、5社(31.3%)が設備投資を実施しており、前年同期横這いとなりました。
来期(5年4~6月)に設備投資を計画している企業は9社(56.3%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	原材料高・材料価格の上昇	11社
2位	人手不足	10社
3位	売上の停滞・減少	6社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	10社
2位	人材を確保する	8社
3位	販路を広げる	6社

特別調査

中小企業におけるデジタル化への対応について

調査概要		この調査は、中空知管内企業に対して「中小企業におけるデジタル化への対応について」をテーマに、同業他社及び他業態動向の情報として各企業の経営に役立てていただくことを目的に実施したものです。			
■調査時点	令和5年3月				
■調査地域	中空知管内(当金庫本支店所在地)				
■調査方法	当金庫職員による面接聞き取り法				
■調査企業	当金庫のお取引先企業				
内訳	製造業	19社	建設業	38社	
	卸売業	7社	運輸業	9社	
	小売業	31社	不動産業	4社	
	サービス業	17社	計	125社	
※ただし各設問において未回答の企業があります。					
※各設問の%表示は、小数第二位を四捨五入しております。					

調査結果から

■インボイス制度への対応「既に登録申請を行った」が80.0%

中空知管内企業がインボイス制度へ向けてどのように対応しているか調査したところ、課税事業者で「既に登録申請を行った」と回答した企業は100社(80.0%)で最多回答となり、次いで「まだ登録申請をしていない」が11社(8.8%)となった。

■電子帳簿保存法改正についての認知度は「意味はある程度わかる」が53.6% 対応は「一部対応できている」が36.0%

電子帳簿保存法改正の認知度について調査したところ、「意味はある程度わかる」と回答した企業は67社(53.6%)で最多回答となり、次いで「内容までよく知っている」が32社(25.6%)となった。

また、電子帳簿保存法改正への対応について伺ったところ、「一部対応できている」と回答した企業は45社(36.0%)で最多回答となり、次いで「対応できていない」が32社(25.6%)となった。

業種別では、認知度について製造業で「内容までよく知っている」が最多回答となり、対応について運輸業・不動産業で「対応できていない」が最多回答となった。

■手形の利用状況は「全く使っていない」が53.6% でんさいは「全く使っていない」が76.0%

手形をどの程度利用しているか調査したところ、「全く使っていない」と回答した企業は67社(53.6%)で最多回答となり、次いで「取引の10%未満」が20社(16.0%)となった。

また、でんさいをどの程度利用しているか伺ったところ、「全く使っていない」と回答した企業は95社(76.0%)で最多回答となった。

■デジタル化投資の満足度は「やや満足している」が46.4% 今後の計画は「現状維持の予定」が40.8%

これまで行ってきたデジタル化投資の満足度について調査したところ、「やや満足している」と回答した企業は58社(46.4%)で最多回答となり、次いで「あまり満足していない」が26社(20.8%)となった。

また、今後のデジタル化投資の計画について伺ったところ、「現状維持の予定」と回答した企業は51社(40.8%)で最多回答となり、次いで「拡充する予定」が42社(33.6%)となった。

業種別では、満足度について卸売業・運輸業で「もともとデジタル化投資を実施していない」が最多回答となり、今後の計画について卸売業で「デジタル化投資は行わない」、建設業で「拡充する予定」が最多回答となった。

■デジタル化を進めるに際しての問題点・課題は「情報分野に長けた社員の不足」が34.4%

デジタル化を進めるに際しての問題点・課題について調査したところ、「情報分野に長けた社員の不足」と回答した企業は43社(34.4%)で最多回答、次いで「セキュリティの確保への不安」、「導入・維持にかかるコスト負担が大きい」が42社(33.6%)となった。

業種別では、不動産業で「活用方法に関する知識の不足」が最多回答となった。